

～7月の米雇用統計について～

結果概要

米国労働省が8月1日に発表した7月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+7.3万人と市場予想(同+10.4万人)を下回る結果となりました。また、5月および6月の非農業部門雇用者数も速報値から大幅に下方修正されました。

業種別では、小売業が同+1.6万人(前月:同▲1.4万人)と増加した一方で、専門・ビジネスサービス業は同▲1.4万人(前月:同▲1.1万人)と前月から減少幅が拡大し、下方修正された5・6月対比ではまちまちとなるも、4月対比では幅広い業種で労働市場の軟化を示す結果となりました。

失業率は4.2%と市場予想(4.2%)に一致し、前月(4.1%)から増加しました。

平均時給は前年同月比+3.9%と市場予想(同+3.8%)を上回り、前月比は+0.3%と市場予想(同+0.3%)と同水準となりました。

労働参加率は62.2%と市場予想(62.3%)を下回り、約3年ぶりの低水準となりました。

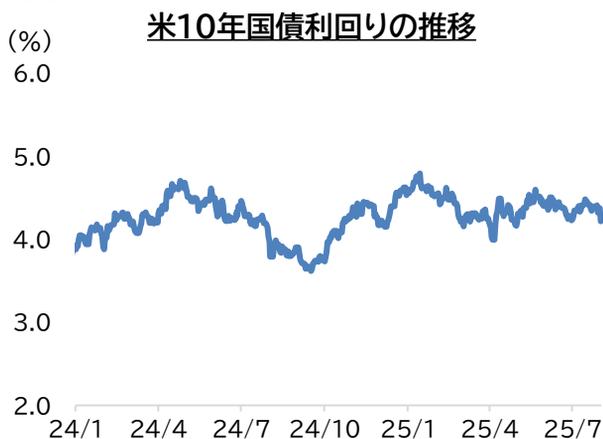
市場反応(8月1日の米国市場)

米国株式市場は揃って下落しました。7月の非農業部門雇用者数が市場予想を下回ったことに加え、過去2か月分の非農業部門雇用者数も大きく下方修正されたことで労働市場の先行き不透明感が強まったほか、トランプ大統領が表明した各国・地域への関税措置の影響に対する懸念を受け、NYダウ平均株価は前日比▲1.23%、S&P500指数は同▲1.60%、ナスダック総合指数は同▲2.24%となりました。

米国債券市場は、軟調な米雇用統計の結果を受けて、米FRB(連邦準備制度理事会)が9月に利下げを再開する可能性が高まったことで買いが優勢となり、10年国債利回りは前日比▲0.16%の4.22%程度で終わりました。

米ドル/円は、米雇用統計の結果による金利低下やリスクセンチメントの低下により、ドル売り・円買いが急速に進み、前日比3円35銭円高ドル安の147円40銭で取引を終えました。

原油先物市場は、予想より弱い米雇用統計や関税発表を受けて、米景気見通しの悪化によりエネルギー需要が後退するとの見方から、WTI原油先物9月限は前日比▲2.79%の1バレル＝67.33ドルとなりました。



(期間)2024/1/1～2025/8/1 (出所)Bloomberg

評価・今後の見通し

7月の米雇用統計は、平均時給が前月比・前年同月比ともに前月から上昇したものの、非農業部門雇用者数が市場予想を下回ったほか、5月および6月分の非農業部門雇用者数が速報値から大幅に下方修正されるなど、労働市場の軟化を示唆する結果となりました。

今回の米雇用統計の結果を受けて、雇用拡大ペースが鈍化しつつあるとの見方が強まり、早期の利下げ観測が再浮上しました。市場では、9月の米FOMC(連邦公開準備委員会)での利下げ期待が高まっているほか、年内に2-3回利下げが行われるとの見通しが優勢となっています。ただし、7月29-30日に開催されたFOMCでは、労働市場の減速に言及しつつも、インフレの持続的な鈍化を確認するまでは慎重に対応するとの姿勢が改めて示されたことから、過度な利下げ期待は後退する可能性もあります。

今後の株式市場は、短期的には8月12日発表の米消費者物価指数、14日発表の米生産者物価指数、15日発表の米小売売上高など、インフレや消費動向を測る主要指標に注目が集まると見込まれます。また、トランプ米大統領による関税政策が企業活動や物価に与える影響や、不法移民の一斉強制送還が労働市場に与える影響についても引き続き注視が必要です。今回の雇用統計の結果は、米国労働市場の拡大に陰りが出始めたことを示唆しており、今後は景気後退リスクや政策運営の不確実性を背景とするボラティリティの高い相場が継続するとみています。

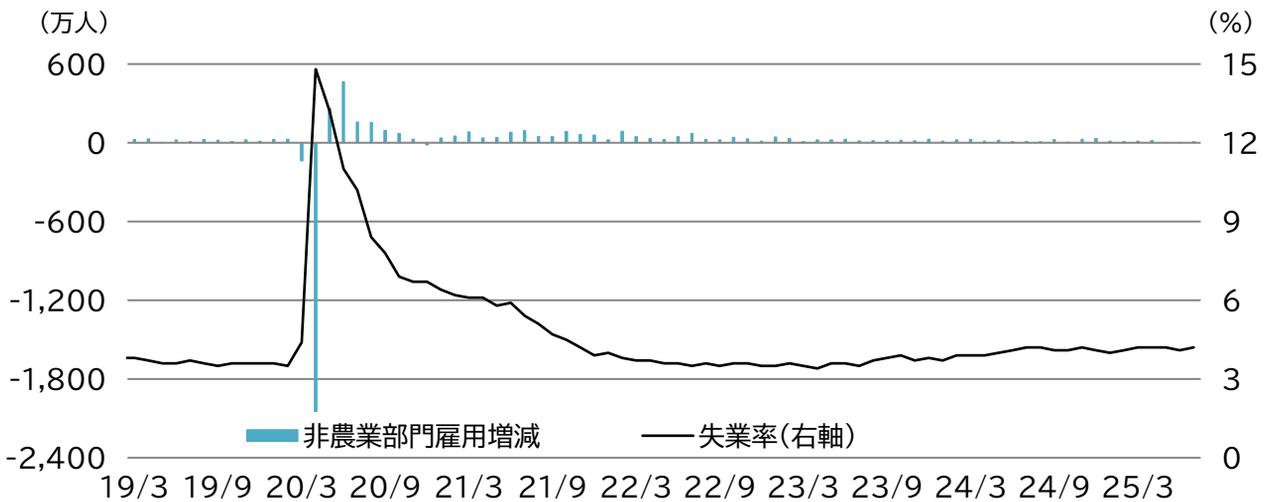
Daily Report(号外)

(ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所:米国労働省

	25/2	25/3	25/4	25/5	25/6	25/7
非農業部門	+10.2	+12.0	+15.8	+1.9	+1.4	+7.3
鉱工業部門	+2.4	+0.5	+0.2	-1.3	-1.3	-1.3
建設業	+1.2	+0.5	+0.0	+0.2	+0.3	+0.2
製造業	+0.8	+0.1	+0.0	-1.1	-1.5	-1.1
資源・鉱業	+0.4	-0.1	+0.2	-0.4	-0.1	-0.4
サービス部門	+8.3	+10.9	+13.1	+8.2	+1.6	+9.6
卸売業	+0.7	-0.5	+0.1	+0.2	-0.8	-0.8
小売業	-0.4	+1.6	+0.5	-1.5	-1.4	+1.6
輸送・倉庫業	+1.8	-2.1	-0.8	-0.1	+0.1	+0.4
情報	+0.0	-0.2	+0.1	+0.2	+0.0	-0.2
金融	+1.5	+0.3	+0.5	+0.7	-0.2	+1.5
専門・ビジネスサービス業	+1.5	-1.1	+2.7	-2.3	-1.1	-1.4
人材派遣業	-0.2	-1.4	+1.7	-1.5	-0.3	-0.4
教育・ヘルスケア業	+6.5	+6.5	+8.5	+7.0	+5.2	+7.9
娯楽・宿泊業	-3.4	+4.5	+1.8	+2.7	+0.4	+0.5
その他	0.3	3.2	-2.0	2.8	-0.2	0.6
政府部門	-0.5	+0.6	+2.5	-5.0	+1.1	-1.0
失業率(%)	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2
平均時給(前年同月比、%)	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.9

(ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移



(期間)2019年3月~2025年7月 (出所)Bloomberg